

## 「遠友夜学校関係資料」を見よう

### (1) 百年記念会館の展示「遠友夜学校略史—50年の変遷—」

〔展示場所〕百年記念会館2階

〔展示時間〕常設、8:30～20:00(土日・祝日・年末年始は休館)

〔展示内容〕レプリカ、パネル

### (2) 総合博物館の展示

〔展示場所〕総合博物館1階「北大の歴史展示」コーナー

〔展示期間〕2015年3月まで

〔展示時間〕夏期6-10月は9:30-16:30、  
冬期11-5月は10:00-16:00(月曜日・年末年始は休館)

〔展示内容〕原資料29点、校舎復元模型

### (3) 大学文書館での閲覧利用

〔閲覧場所〕附属図書館4階 大学文書館閲覧室

〔閲覧時間〕水曜日・木曜日 9:30-16:30(祝日・年末年始は休館)

〔閲覧手続き〕事前に閲覧予約をお願いします。資料保護のため、原資料を閲覧いただけない場合もあります。

※遠友夜学校関係資料に関するお問い合わせは、大学文書館宛てにお願いします。

#### 【表紙写真解説】

- (1) 宮部金吾代表(札幌農学校教授)を囲んで、遠友夜学校生徒と教師たち  
——遠友夜学校第6回卒業記念(1904年)
- (2) 半澤洵校長(北海道帝国大学教授)を囲んで(1939年3月)

ほっかいどうだいがくだいがくぶんしょかん

## 北海道大学大学文書館

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目 北海道大学附属図書館4階

〈電話・ファックス〉 011-706-2395

〈メールアドレス〉 [archives@general.hokudai.ac.jp](mailto:archives@general.hokudai.ac.jp)

〈ホームページ〉 <http://www.hokudai.ac.jp/bunsyo/>

〈開館日時〉 平日 9:00～17:00(祝日・年末年始を除く)

## 展示「遠友夜学校略史—50年の変遷—」《北海道大学百年記念会館》



## 展示のご挨拶

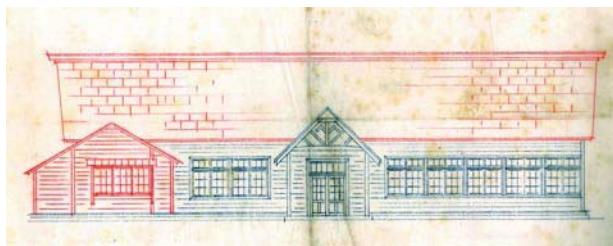
2014年7月、北海道大学は札幌市から「遠友夜学校関係資料」575件の寄贈を受け、大学文書館において保存することとなりました。

「遠友夜学校関係資料」は、生徒作文集、刊行物、図書、墨蹟、写真、文書などの遠友夜学校旧蔵資料です。1964年に遠友夜学校の財団法人が解散する際、札幌市が財団法人から受贈しました。札幌市では「遠友夜学校記念室」を設けて資料展示を行ない、広く遠友夜学校の活動・歴史を紹介してきました。この度、貴重な資料を次の世代へ受け継ぎ、長く遠友夜学校について語り継いでいくことができるよう、大学文書館において良好な環境で保存し、資料の状態を十分に考慮した利用を進めることとなりました。

本展示では、生徒の作文や教師の教育活動の記録などを中心に、遠友夜学校50年の変遷を辿ります。遠友夜学校が、常に社会状況や子どもたちを巡る教育環境の変動に対応して、その役割を変化させ、役割に合った組織改編を行なっていた様子を読み取っていただければと思います。

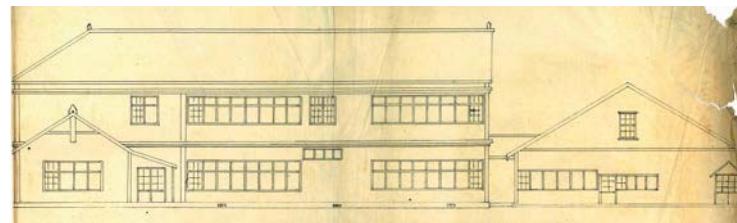
## 遠友夜学校とは

遠友夜学校は、1894年に札幌農学校教授であった新渡戸稻造と妻メアリーが札幌に創設した、貧困等で学校に通うことのできない子どもたちのための学校です。当初は初等部、後には中等部を整備しました。学校の運営には有志の市民が当たり、宮部金吾、大島金太郎、有島武郎、半澤洵といった札幌農学校・北大関係者が中心的な役割を果たしました。また、多くの農学校生・北大生が教師を務めました。1944年、戦時体制の中で一定の役割を終え、50年に及ぶ歴史に幕を閉じました。



遠友夜学校旧校舎  
(1923年頃)

遠友夜学校校舎  
増築工事側面図  
(1928年頃)



## 遠友夜学校沿革略年表

1890年	札幌独立基督教会有志が「豊平日曜学校」を設立
1894年	新渡戸稻造・メアリー夫妻が日曜学校を引き継ぎ、夜学校を開設(新渡戸稻造校長、後に「遠友夜学校」と命名)
1895年	メアリーの寄付により、敷地・建物を購入
1897年	尋常科・高等科設置、毎夜2時間授業を実施 10月、新渡戸夫妻が札幌を離れる
1898年	宮部金吾が代表に就任(～1905年)
1899年	第1回卒業生を送り出す
1900年	文部省令に準じた科目の授業を開始
1905年	大島金太郎が代表に就任(～1909年)
1908年	4月、文部省令に準じ、高等科1.2年を尋常科5.6年と改称
1909年	1月、有島武郎が代表に就任(～1914年) 6月、新渡戸夫妻来校
1910年	校舎増改築、新たに高等科を編成
1914年	11月、蠣崎知二郎が代表に就任(～1919年)
1916年	3月、北海道庁から私立学校の認可を受ける 4月、高等科を本科、尋常科を予科と改
1919年	7月、野中時雄が代表に就任(～1920年)
1920年	11月、小谷武治が代表に就任(～1921年)
1921年	4月、予科・本科を初等科(初等部)・高等科(廃止予定)へ改組し、普通科3年・補習科1年の中等科(中等部)を新設 6月、有隣夜学校が独立して学校組織が分裂 同月、半澤洵が代表に就任(～1944年)
1922年	4月、中等部補習科を廃止し、初等部補習科を設置
1923年	8月、北海道庁から財団法人の認可を受ける(代表理事半澤洵)
1924年	3月、中等部第1回卒業生を送り出す
1926年	4月、高等科を廃止し中学部4年制とする
1928年	2月、中学部生徒を中心に図書部を設立
1931年	5月、新渡戸稻造校長来校
1933年	10月、新渡戸稻造逝去
1934年	新渡戸メアリーが第2代校長に就任
1938年	9月、新渡戸メアリー逝去、半澤洵が第3代校長に就任
1944年	3月、遠友夜学校を閉校